



算定単位

1 t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階（原材料調達、原材料の輸送、製品の製造）
及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：東日本製鉄所 [鹿島地区、君津地区]
名古屋製鉄所、九州製鉄所 [大分地区]

主な規格：造船、建産機、海洋構造物、風力、ラインパイ°用母材、
ボイラー・圧力容器、ポンプノック、橋梁、
他分野向け各種規格

形状：厚鋼板

問い合わせ先

日本製鉄株式会社
厚板技術部 厚板商品技術室
TEL：03-6867-6401
https://www.nipponsteel.com/

登録番号	JR-AJ-22001E-B
適用PCR番号	PA-180000-AJ-06
PCR名	建設用鉄鋼製品（中間財）
公開日	2022年2月14日
検証合格日	2024年1月16日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AJ-24011
検証有効期間	2027年1月6日

PCRレビューの実施

認定日等	2023年5月10日
委員長	松野 泰也 千葉大学

第三者検証者*

外部検証員 富永 聖哉

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの
の独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行っ
た審査員の名前を記載。

① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	製造+間接影響	製造のみ	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	1300	2500	kg-CO ₂ eq
酸性化	0.035	1.9	kg-SO ₂ eq
富栄養化	0.025	0.046	kg-PO ₄ -eq

スコープ3やカーボンフットプリントの算定に関しては「⑥-1.その他の環境関連情報」を必ず参照のこと

内訳	項目	単位	【A1】～【A3】合計	【A1】 原材料調達	【A2】 原材料の輸送	【A3】 製品の製造	【D】 間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a		kg-CO ₂ eq	2.5E+03	4.7E+02	1.2E+02	1.9E+03	-1.2E+03
オゾン層破壊		kg-CFC-11eq	6.8E-05	6.9E-05	7.9E-10	-4.3E-07	-2.1E-07
酸性化		kg-SO ₂ eq	1.9E+00	4.9E-01	6.6E-02	1.3E+00	-1.8E+00
光化学オキシダント		kg-C ₂ H ₄ eq	1.3E-02	4.9E-03	1.1E-03	7.5E-03	-2.6E-01
富栄養化		kg-PO ₄ ³⁻ eq	4.6E-02	3.6E-03	7.1E-13	4.3E-02	-2.2E-02

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目		単位
非再生可能資源	7.0E+02	kg
再生可能資源	1.0E+03	kg
非再生可能エネルギー	2.6E+04	MJ
再生可能エネルギー	-4.0E+02	MJ
淡水の消費	5.0E+02	m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

項目		単位
鉄 [Fe]	≥96.9	%
炭素 [C]	≤0.45	%
ケイ素 [Si]	≤0.70	%
マンガン [Mn]	≤2.00	%
リン [P]	≤0.035	%
硫黄 [S]	≤0.035	%

④ 廃棄物関連情報

項目		単位
有害廃棄物	0.0E+00	kg
無害廃棄物	1.7E+00	kg
産業廃棄物 埋立物	1.7E+00	kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤ 算定結果に関する追加情報

①間接影響として、JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、上記の表【D】にその値を記載した。間接影響分は上記の表【A1】～【A3】の合計値に加算される。

計算に使用したリサイクル率は93.0%（計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ（出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会）を使用）

②輸送シナリオはPCRに従った。

③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は、対象となる鋼材規格の各上限値のうち最大のものを示す。

④電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。

⑤規格例：○海洋構造物：EN10225、API2W50&60 ○造船：各種船級品 ○建産機：ABREX®、WEL-TEN®、S-TEN® ○風力：SM、EN10025 ○パイプ用母材：API5L(base material) ○ボイラー・圧力容器：SPV、(S)A516、(S)A387、(S)A537、(S)A553、(S)A841 ○ボルトナット：WEL-TEN® ○橋梁：COR-TEN®、NAW-TEN®、COR-SPACE®、SBHS、(S)A709

⑥-1.その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で生産している。

[気候変動 IPCC2013 GWP100a] に関する注意：本製品の購入者が、その組織のスコープ3 カテゴリー1のGHG排出量を算定する場合や、本製品を用いて製造する製品のカーボンフットプリントを算定する場合には、以下のURLを必ず確認すること。

<https://www.nipponsteel.com/product/cfp/certificate.html>

(上記URLの内容は、EPDの検証対象外)

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。また、スクラップ原単位 (スクラップ LCI) は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧備考

変更：2024年1月 外販プロセスガスの取り扱いを修正

変更：2026年4月1日「⑥-1.その他の環境関連情報」に補足説明を追記

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)